

平成28年度

杉並区基本構想実現のための区民懇談会

# すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

[報告書]



## ～ はじめに～

区は、区民の皆さんの暮らしを支える様々な仕事をしています。

これらの仕事は、区の将来像を示した「基本構想」と、その実現に向けた「総合計画」・「実行計画」等によって進められています。

そして、区はこれらの構想・計画の取組状況等を区民に報告し、区民の皆さんからご意見を伺うため「基本構想実現のための区民懇談会」を設置しています。

昨年度から、この区民懇談会を「すぎなみ ちょこっトーク」と称し、無作為で抽出された区民の中から、参加意向を示された方を4～5人の小グループに分け、ファシリテーター（進行役）のもと、気軽に対話する方法で実施してきました。

この報告書は、今年度行われた「すぎなみ ちょこっトーク」において、活発な意見交換が行われた当日の様子や参加者の意見をまとめたものです。

これからも、「すぎなみ ちょこっトーク」などの取組を通して、区政への参加の拡大を図り、区民と共に豊かで住みよいまちをつくっていきたいと考えています。

## ～ もくじ～

ちょこっトーク Part1 (H28.9.11 開催) .....	3
ちょこっトーク Part2 (H28.12.17 開催) .....	14

# すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

## **Part 1**

テーマ

「災害発生、そのときどうする？」

平成 28 年 9 月 11 日 (日)

13:30～16:30

(杉並区役所 第 4 会議室)

## ちょこっとトーク Part1

### Schedule

#### ◆はじめに ~ごあいさつ~

明治大学 牛山久仁彦教授

#### ◆アイスブレイク

#### ◆杉並区の実情について（区から説明）

#### ◆ワーク

災害が発生したとき、区として何が必要か、  
区民ひとりひとりが何をできるか？

#### ◆振り返り

- ① 今日参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと
- ② 杉並区にやってほしいこと、取り組んでほしいこと、杉並区と一緒にやってみたいこと

#### ◆講評

明治大学 牛山久仁彦教授



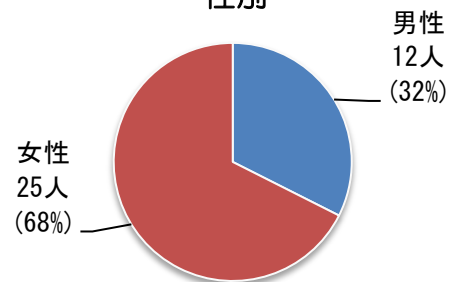
### 【参加者データ】

○区民 1,500 人を無作為で抽出し、案内状を送付

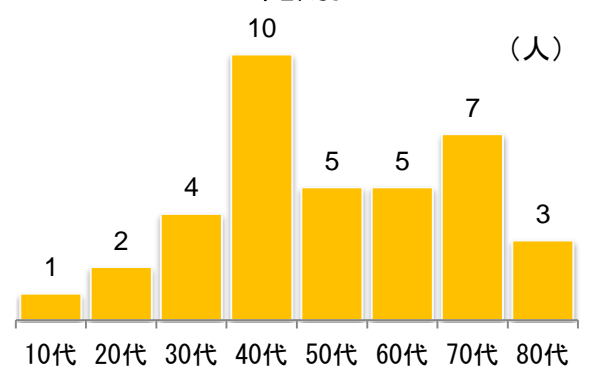
○参加希望・・・40 人

◎当日参加・・・37 人

#### ～性別～



#### ～年齢別～



**牛山 久仁彦** 明治大学政治経済学部教授  
杉並区基本構想審議会副会長



専門は、行政学、地方自治論。日本行政学会理事、全国町村議会議長会議会のあり方研究会委員、杉並区基本構想審議会副会長、などを務める。

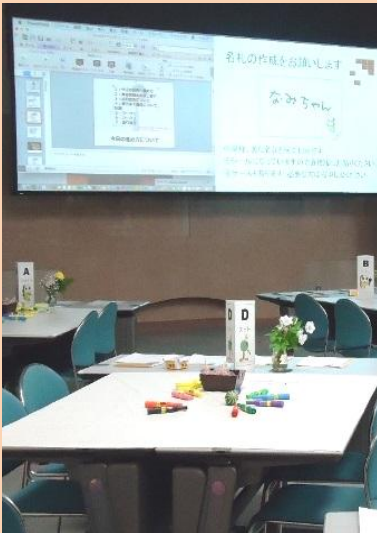
**小笠原 祐司** ファシリテーター  
NPO 法人 bond place 代表



人と人をつなぐ多様なワークショップやファシリテーション、人材育成のコンサルティング、NPO 事業支援などを行う。



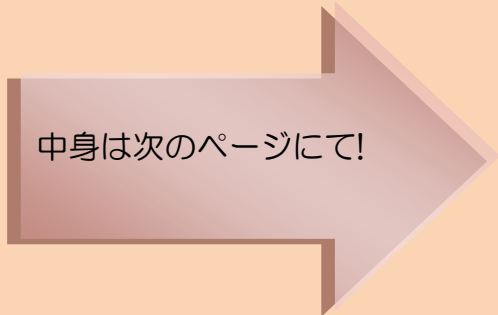
# ちよこっトーク Part1 写真館 (1)







# ちよこトーク Part1 写真館 (2)



# 「災害発生、そのときどうする？」

## みんなの振り返り…参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと

自助	まずは自助！	自助は大事	予行演習が大事	運動靴を準備する	防災用品に、靴を忘れずに！
	やっぱり自助が大事	自助が大事	トイレは大切	道を覚えよう	準備をしっかり
	やはり、自助ですね！	自助の備えが大切	少なくとも、火災は出さない！		歩いて自宅に帰る訓練が必要
	まずは、自分で自分を守る	備品の確認をする	消火器の使用方法を知ることが必要		帰宅は体力勝負で靴も重要！
	自助の大切さ！まず自分が生き延びる	物理的に、個人で対応できる準備は最大限しておく	家族と集合場所を決める		帰宅困難者が道中自分のスピードで歩けない。自宅までの経路の確認
	防災について、事前準備ができていない	突っ張り棒などで、家具を固定する	備蓄増やします!!（下着、ウエットティッシュ、携帯トイレ）		最近少し意識が薄れていたが、備蓄など自助努力を改めてちゃんとしようと思った
	情報を自分から探していきたい	家具転倒防止は意外と行われていない	携帯（登録している）連絡先のメモが大切	水の大切さを改めて思いました	防災用品（水、食料）の期日管理が大変である
	携帯の充電器の重要性	災害に対して、自助の点について、甘い事を感じた	10円玉やテレフォンカードを持つようにしたい	水と食料、最低3日分をちゃんと用意	水の用意
	個人によるところも多く、個々人の対策から始める	もっと防災に対する意識を高くしようと思った	今一度、防災用品の確認をしておこうと思いました	食料、水、電気	皆さん個人的には防災対策をやっていました

共助	町会を調べて入るか考える	共助の必要性!特に高齢の方に対するフォロー	援助する人をあらかじめ決めておいた方がよいのではないか	年代、居住区域によって直近の防災に対する意識の違いがある	
	町会を大切にしている	防災に対する町内の細かい連絡があるところとないところがかかっている	ご近所(小さい単位)同士のつながりが防災の始めの一歩だと思った	近所づきあいが大切だと思いましたが	共助をする前に、近所の人のことを知らない
	共助は大事	通信手段はSMS(ショートメール)がよい	地域の顔の繋がりを作るのは意外と大変	ご近所同士の繋がりが、顔も知らない人もいる	ご近所づきあい、町会の大切さ
	訓練の参加が必要	SNSは情報共有に便利	共助するためのシステム作りが必要	隣近所の助け合いのため、町会の活性化	
	情報発信は大事	色々な情報を聞くことが大切	参加している方々は皆「防災」意識が高いが意識の低い人をどうするのかが問題	他の人を助けるにはどうしたらよいか、考える人が多い	
その他	不安な気持ちが皆、同じであることが分かりました	震災時にコンビニが活躍する	このような集まりは大切であると気付きました	意識が高い人が集まっていると思うが、区で行っていることがほとんど伝わっていないように感じた	
	とめどのない事で、答えがない	わかりません!	楽しく参加できました。 Thank you!	家に帰ってから、家族と今日の話をしたい	
	参加されていた方々の意見がとても参考になりました	これからもこのような会を開催してもらい、意見交換していきたい	思い切って参加して、多くの方との出会い、お話が聞けて良かった	防災意識が低い	
参加している皆さんが思っている以上に防災意識があって、自分が恥ずかしかった	年代、生活環境の違いで、考え方行動の仕方が変わってくる	初めてお逢いする方ばかりでしたが、よくお話できたと思います	家族で打ち合わせをする		
皆さんの意識がとても高く、びっくりした	他の皆さんの防災への備えがとてもしっかりしていたので、びっくりしました	皆様、立場によって色々な問題意識を持っていらっしゃるので、共有できて良かったです	ありがとうございました		



# 「災害発生、そのときどうする？」

## みんなの振り返り…杉並区にやってほしいこと、取り組んでほしいこと、

### 杉並区と一緒にやってみたいこと

地域防災力の向上	区民と協力した防災の街づくりが必要	防災訓練(イベント等)	学校を中心とした防災対策を	防災を日常化する努力	防災地図の作成
	防災訓練の実施	防災訓練の告知が弱い	災害に強い都市づくり	マンションはそれだけで1つの町内会としたい	避難所へ自力でたどりつけない人の対策を(誘導)をお願いしたい
	避難訓練の案内が欲しい!	地域の人のできる訓練の機会が欲しい。(民生委員)	職場内での災害に対する意識の強化【①】	少なくとも防災についての認識が無く、少しずつ考えていきたい【①】	いざという時、支援が必要な人を助ける仕組みづくり(町単位)
	地元の防災訓練の周知	ご近所つきあいや防災に関するイベントを増やしてほしい	災害時の対応マニュアル告知【①】	避難場所を高年齢者向けにわかりやすく表示	もう少し近く(近所)で井戸水・避難所を大きく教えてくれるとありがたい
	防災パトロールの結果を共有したい	自宅の周りを防災の目線で観察。みんなで集まれる場所の確認	福祉施設と近所をつなぐような防災イベントをいっしょに企画してほしい【②】		消火器が使えないので、町で消火器の使用法(実技)をレクチャーしてほしい
	町内会組織を災害対策に活かせる様に再編すべき	減災という観点で具体的に何が個人で出来るかを全体として考えて欲しい		近所つきあいが無いに等しい地域。誰がとりまとめる?→地域の民生委員?活動しているようには見えないが、与えられた役割は?	
			地域の中で救助等に携われる人はいるが、地縁が薄いせいか、周辺の状況がわからないので助けようがない【②】		災害時の家庭向けマニュアル
防災機能の強化	衛生管理(トイレ配備)	通電火災の防止体制の強化【③】	避難施設(学校等)の耐震化	50万人分の3日分の水と食料と電気!	バリアフリーの対応
	災害時、火災が一番怖いので、例えばヘリとかでとにかく早く消火できるなら、してほしい		マンション内で自治管理(救助・備蓄等)の強化	狭あい道路の改善	災害時に困る水について、区に井戸を設置してほしい

情報発信・通信など	情報発信手段の多様化【⑤】	情報をたくさん出してください	災害時、どの地域がどの程度の被害があるか分かる手段【④】	地域別に適切な情報配信
	情報伝達の多様化【⑤】	情報発信をいろいろな方法で提供してほしい(スマホ・掲示板)【⑤】		緊急連絡について→昔の光化学スモッグの有無について流したように、区全体に流してほしい
	年代別への情報配信手段【⑤】	高齢者向けの情報配信手段の整備【⑤】	携帯やスマホを持っていない人達への配慮【⑤】	公衆電話を増やしてください
	正確な情報を素早く流して欲しい	各世帯に防災無線の内容が流れる戸別受信機が欲しい(希望者のみでも可)		防災行政無線の情報がもっと伝わりやすくなるように
その他	民間との連携	庁内から外へ、住民へ	区には期待していない	ハード面とソフト面の充実。個人情報という壁の乗り越え方を考えて欲しい ゴミ屋敷・木造空き家の2次災害防止対策
	ボランティア	若い方よろしく! いい杉並区に	保育園→防災の点からの対応	今日のような機会を沢山作っていただきたいです!転入者で知人も少ないので・・・
	分かりません	大きな動きを起こしてほしい	空き家や火災時の区の対策	新しく入ってくる人の配慮。ハードが進むにつれて、ソフトが追いつかない。※新しく入ってきた人の孤立化
	救命資格の推進	障害者へ配慮した行政対応【⑥】	ハード面での対策と同時に、ソフト面をなんとかせねば	安心して大好きな杉並で生き続けたい 保育園→入所できても会社及び自宅から遠い所になると大変。心配です
	公務内容の見直し	人的ソフト面の強化	要介護の方々の避難をどうできる??(民生委員だけでは無理)【⑥】	障害のある人が安心して避難生活できる福祉避難所を完備してもらいたい
	住みたい街、安心安全の美しい街	コンビニ等のお店をどう活かすか	今やっていることを、必ず実現してほしい	電信柱の倒壊等、外で災害にあった場合の対応法【④・⑦】 とにかく地震後の消火に尽力をお願いしたい

## 区民の意見を受けて、これからの区の取組の一部を紹介します

### 【①】

家庭や職場内で防災・減災について話し合うきっかけとなるよう、今回いただいたご意見の視点に立って「杉並区の防災対策（冊子）」の内容を一部見直し、区民向けに周知をしっかりと行っていきます。

### 【②】

地域の震災救援所訓練をより実践的なものとするよう支援するとともに、区民の防災意識を高めるためのフェア等を開催していきます。

### 【③】

地震により発生する通電火災の防止策として、感震ブレーカー（※）の設置支援を進めていきます。

※震度 5 強以上の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として、電気を止める装置です。

### 【④】

区独自の地震被害シミュレーションの結果を地図化し、区ホームページ等で公表するとともに、すぎナビ（※）を活用し、被害想定を「見える化」していきます。

※区が災害情報を共有することで、避難所や安全な避難経路などの情報をリアルタイムに提供するスマートフォン向け防災地図アプリです。

### 【⑤】

災害情報について、区ホームページへの掲載やメール配信サービスにて情報提供を行います。また、ICT を利用しにくい方には、電話応答・通報サービス、広報車を展開し情報提供を行います。

### 【⑥】

「地域のたすけあいネットワーク（※）」のご登録を周知し、地域の助け合い「共助」の重要性を周知していきます。

※ 自力では避難が困難な方を「地域の方々によるささえあいで、たすけあうしくみ」です。

### 【⑦】

シェイクアウト訓練（※）等を通じて、災害時に身を守る行動を周知していきます。

※ドロップ（姿勢を低く）・カバー（体・頭を守る）・ホールドオン（揺れが収まるまでじっとしている）」という身を守るための基本的な行動を、学校・職場・外出先などで一斉に実践する訓練です。



※いただいた意見は、区の施策・事業に反映させるなど、区政運営の参考にさせていただきます

みなさんの暮らしの中で、災害への備えは大切です

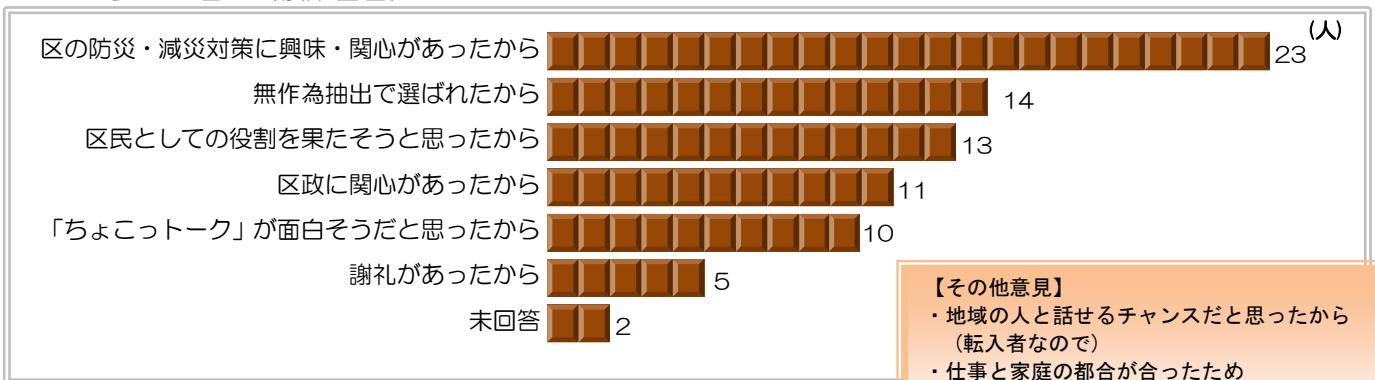
特に首都直下地震への備えが、特に重要です

区民と行政がよく話し合い、地域防災力を高め、災害に強い防災まちづくりをすることが重要です



～参加者の声（参加者アンケートから）～

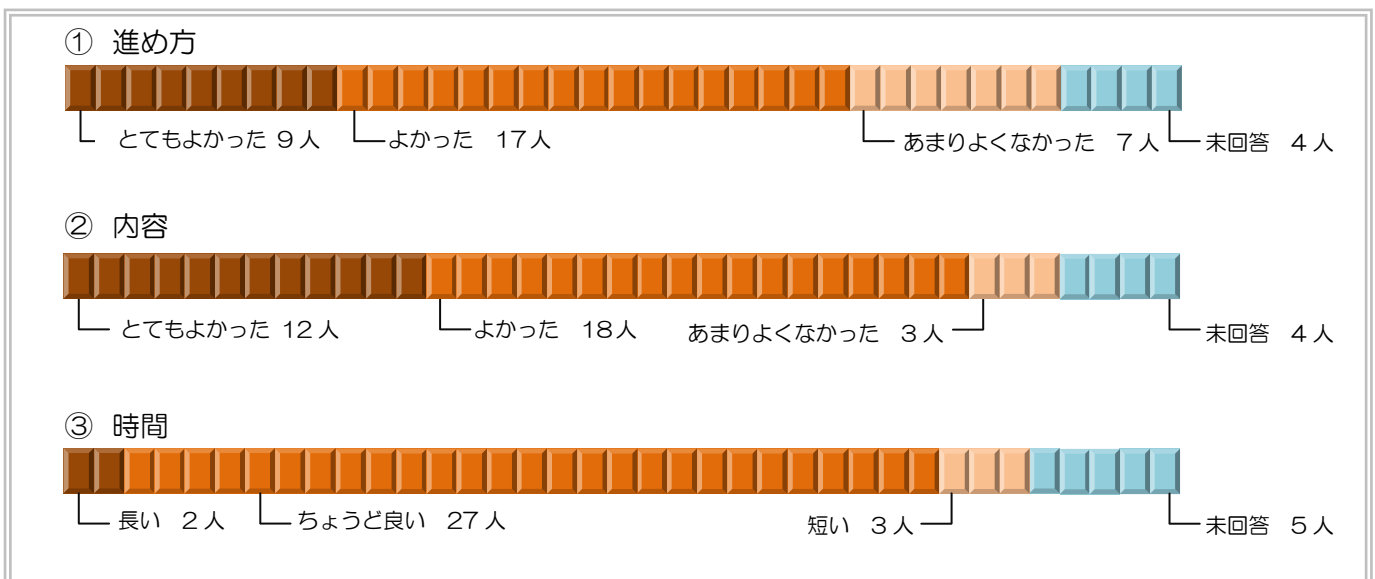
Q1 参加の理由（複数回答）



【その他意見】

- ・地域の人と話せるチャンスだと思ったから（転入者なので）
- ・仕事と家庭の都合が合ったため
- ・事業主としての行動を具体化するため
- ・携帯電話をもっていないので、不安だったから
- ・私の意見を区の方に聞いてほしかったから

Q2 進め方等について



Q3 区政に関心が高まったか





## —参加者の声—

自助の大切さもよく理解したので、周囲にも伝達していきたいと思う。  
また、ご高齢の方に対する情報伝達やサポートの仕組みを構築することの必要性も改めて感じた

もっと、若い区民に今回のような取組に参加してもらって区民の結束を強くしてもらえればと思います

区として防災意識だけでなく、基本構想の浸透を高めるには、もっと大きな区としてのムーブメントが無ければならないと感じました

行政に対する質問が出来なかった

区の職員の方々には、どうか区民からの苦情、意見、要望を恐れず、堂々と区民と向き合ってほしい

転入してまだ日も浅く「共助」しようにも近くに知人がおりません。杉並区にはこんな方が暮らしているのかと知る機会としても、今日はとても貴重な場となりました

同じ話題であっても楽しくお互いに話をできて良かったと思いました

意見交換は楽しくリラックスした状態で行うと意見が出しやすいことがわかりました

グループでの意見交換の時間をもっと長く取れると良いかもしれない。各グループを担当していた職員の方がきちんとメモをとり持ち帰ってくれるといいですね

意見交換の時間が足りないと感じる事があった

防災についての意識が高くなりました。  
ちょこっとの後、懇談会があれば、もっとざっくばらんなトークが出来るかもしれません

非常持出品、備蓄品の点検をします

ご近所との関係など、他地域の方からお話をうかがえてよかった

普段災害意識が少なく、考えたことが無かったので、南相馬のお話も含めて、とても参考になりました

自助/共助/公助について、改めて整理して考えることが出来た

「3.11」後はかなり危機意識を持っていましたが、最近緩んでいました。また、気を引き締め、防災を日常化、ということをも身につけたいです

災害があった時、杉並の人口を考えると、避難所の数、場所の面積、不安



# すぎなみ ちょこっトーク

～みんなで話す すぎなみの未来～

## **Part 2**

テーマ

「地域とのつながり」

平成 28 年 12 月 17 日（土）

13:00～16:00

（杉並区役所 第 4 会議室）

## ちょこっトーク Part2 Schedule

- ◆はじめに
- ◆アイスブレイク
- ◆ワーク1：  
レゴ®シリアスプレイ®の練習

【レゴ®シリアスプレイ®】  
進行役（ファシリテーター）が、レゴ®ブロックを使用し、自由かつ平等に対話できる環境を創りながら、隠れた想いやアイデアをブロックの作品にして引き出すきっかけとするもので、NASA（米国航空宇宙局）やハーバード大学、企業の研修などでも使われている新しい対話技法です。  
※レゴ®及びレゴ®シリアスプレイ®はレゴ社の登録商標です。



- ◆ワーク2：  
「あなたが望む地域のつながりとは？」を題材に、レゴブロックで作品を作る
- ◆振り返り
  - ① 今日参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと
  - ② 杉並区へのご意見・提案・要望
- ◆講評

明治大学 牛山久仁彦教授

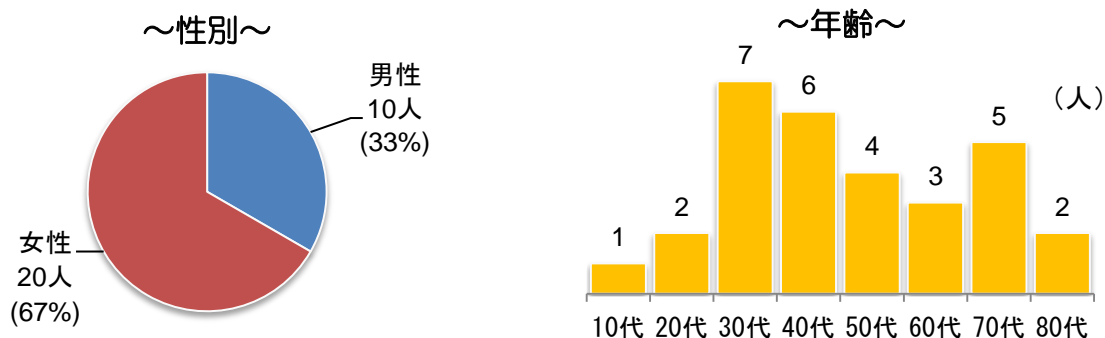
※講評及びファシリテーターは「ちょこっトーク Part1」と同様（P3 参照）

### 【参加者データ】

○第1回の参加希望者及び無作為抽出者に案内状を郵送

○参加希望…37人

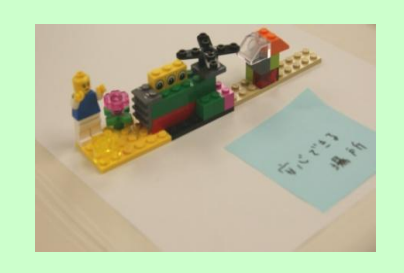
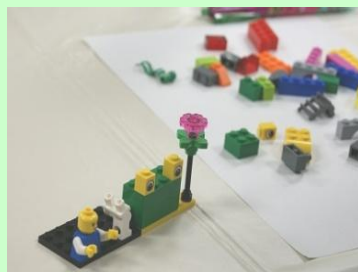
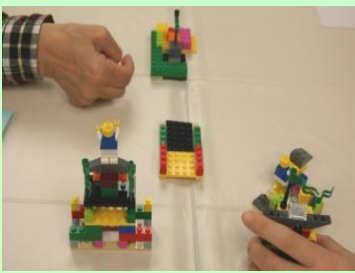
◎当日参加…30人





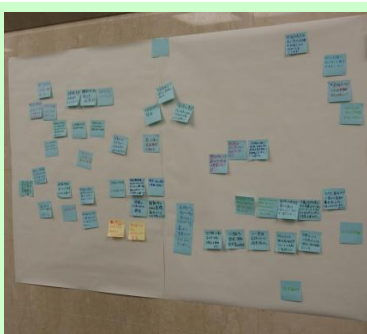
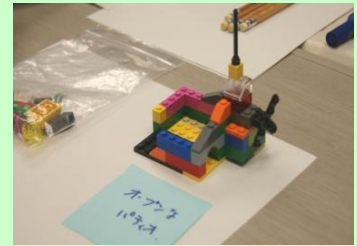
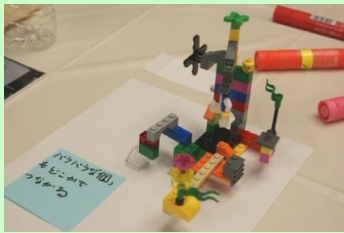


# ちよこっトーク Part2 写真館 (1)





# ちよこっトーク Part2 写真館 (2)





# 「地域とのつながり」

## みんなの振り返り・・・参加して気づいたこと、感じたこと、思ったこと

面倒なこともあるけど・・・all for one、one for all	地域を良くするたしめに、ほんの少し（受け身はダメ）	もの忘れ外来にお世話にならぬ様に、この様に参加させていただき感謝です	新しい発見	バラ色の人生に向かって努力していきたい
区役所（区の方）がどう思ったか、感じているのか、この場で発表してほしいな	想像する人間の面白さ！	風通し良く！	無意識のうちに、見相手を思っているを述べている	風通しの良い街。共通認識を持つと同時にお互いの考えを尊重する
みんな違う。それぞれの人生	何かあれば、話し合いの場を！	様々な視点から考えさせられた	受け入れること	行政や区の取組知識が無くても、参加できたのがよかった
いつでもアンテナ高く！	時間があっという間だった	また参加したいです	楽しかった薬になった	楽しいひとときでした
前回に対する対応状況の説明がほしい！	多くの意見を聞く事で、より良い発想が生まれる	フランクな一声から新しい人間関係は始まる	先ず、挨拶からコミュニケーションは始まる	コミュニケーションの大切さ
町会・自治会への加入率の低さ	町会の参加率が低いことは問題！	物質的なつながり、心のつながり	よい距離感を保ちつつ、つながっていくことが出来ればいいと思った	つながりは意外と窮屈ではない
つながりって、身近にあるのかもしれない、と思いました	ゆるーいつながり！	年代が違う方々の会話が楽しかったです	世代の違う人と同じワークをして、楽しかった	いろいろな年代の方が集まると、創造力がわく！

普段交流がない世代の方とコミュニケーションがとれて面白かった	年代毎の考えの違い	世代を超えて、コミュニケーションを取りたい	何かあった時に、いつでもかけつけてくれる安心感	いつでも見ていること
見守る「目」が地域を良くする	地域見える化	周りの目の重要性	地域の見守り（適度な）	安心や安全や平穏を皆望んでいるのでは
皆が安心・安全な街づくりを望んでいる	初対面の方々とのコミュニケーションは緊張感を高める	初めてでも、心が通じあうのを知りました	まったく知らない方と楽しい時間を過ごせたこと	前向きにすすめられた（チームワークが上がった）
いい仲間でした。心のつながり	若い人が多く、女性参加が増えている	2回目の参加です、同様に2回目の参加者が多くいらっしやっただ、もっと広げていきたい	今回の集会では、前回より若い人が多くて、いろいろと得ることが多かった	レゴは難しいが、雄弁である
レゴの作業を通して共有	レゴを使うことによって、他の人の見方が自分と違うことがわかりやすく、自分の中に入ってきて良かった	頭より先に手を動かすのは子供の頃以来です	レゴを通して、色々なインスピレーションに触れられて刺激になりました	自分が作ったものを他の人は違う視点でみていて、考え方が違うことがおもしろい
ことばでは表現できない事を、レゴの形と色で表すことができたという気付き	レゴのワークは、上手な人がいると焦ってしまう	「レゴと人間の関係」ありと思った	手元の動きが悪いことが、気になった（Legoが小さい）	同じレゴを共有するだけで、コミュニケーションがとれやすくなった
初めてのレゴ大変楽しかったですが、疲れしました	ブロックの形・色に意味づけするのだが、人それぞれ違っていた	職場でもレゴを取り入れてみたい	初めて手にしたレゴに感動を受け、脳の働きをよくできたと共に、楽しく話し合いもでき、最高の3時間でした	同じパーツと数なのに、個性がでておもしろかった
4人で1つの作品にしても、新しい作品になって、面白かった				



## 「地域とのつながり」

### みんなの振り返り・・・杉並区にやってほしいこと、取り組んでほしいこと、

#### 杉並区と一緒にやってみたいこと

<p>地域とのつながりに関するイベントやワークショップを増やして欲しい【①】</p>	<p>老若男女いろいろな世代が交流できる場を作って欲しいと思いました【①】</p>	<p>今日のような無作為抽出型イベントが気軽に新鮮でした</p>	<p>子育てから高齢者とつながるしくみが杉並は弱いので、今日のようなワークショップに子供も交えてほしい【①】</p>	<p>防災訓練のイベント化（おまつり化）</p>
<p>ボランティア活動</p>	<p>空き家の掃除など、ボランティアの募集</p>	<p>色々なテーマでこういった取組を行ってほしい!!【①】</p>	<p>地域の民生委の人は、何をしているのか質問してみたい</p>	<p>のみの市の開催（週一、善福寺川で）⇒物を介した交流促進</p>
<p>杉並区で交流イベントをもう少し身近なところで（今日のような交流）してくれたら、いいなと思いました【①】</p>	<p>地域対抗ポリング大会 ⇒つながる為に</p>	<p>若い人達の交流機会を考える【①】</p>	<p>杉並区民ではない方々（お仕事が杉並）とのつながりは、どうする？</p>	<p>こういう交流会みたいなのを、またやって欲しい【①】</p>
<p>行政の人達とワークショップを通じて、区民の本音を聞きだして欲しい【①】</p>	<p>地域のコミュニケーションネットワークを作る【①】</p>	<p>地域のとりまとめ、把握をする。（担当（民生委員）が状況を把握する）【②】</p>	<p>自分の立場で役に立てる機会があるとよい</p>	<p>共存できる街、ノーマライゼーション</p>
<p>若い世代の交流の場を作ってほしい【①】</p>	<p>怖い人を一地域に一人の割合で配置</p>	<p>歩道の清掃、花を植える等（防犯対策としても効果大）</p>	<p>早朝の新聞集めは止める</p>	<p>町会活動にポイント付与（ご長寿ポイントを若い世代にも）</p>

街路樹の整備	災害時においても、しっかりと地域が連携し対応できる体制【②】	ゴミ集積所の管理	図書サービスの充実がとても便利(高円寺駅前)です	横断歩道は自転車をおりて渡る
横断歩道の自転車のあり方	治安維持	横断歩道の歩き方の指導を！	住宅地の狭あい道路の解消【③】	タバコ禁煙道路の監視・指導強化
ベビーシッターサービス制度をつくってほしい	防災に向けて道路の整備(道幅)【③】	避難時のための基礎体力づくり(メタボ対策にもなる)	区民と共に、杉並の発展を心から願うばかりです	誰もが安心して暮らせる地域の基盤を作って欲しい【②・③】
どの年齢層に対しても住みやすい町づくり	なんもないです!	学校も小さい子へ丁寧に	気持ちよいことは、皆が心地よく思えるから、とんがらずに暮らしたい	区で実施している事が不明。出来ない理由も説明する
きっかけづくり	杉並区は素晴らしい、住みやすく、これからもよろしく	とても面白かったし、皆さんの意見や交流がとても楽しかったです!	安全安心な町づくりとして、細部にも目を向け、行政で行うべき事、出来る事を今後も進めてもらいたい	
情報のとりまとめと発信【④】	後日の報告書にはもう少しレベルを上げて欲しいと思います。読んでもらうということを念頭をお願いします【④】		介護に対する考え方について、実際の経験者又は一人一人に対する生き方からの視点で、沢山の意見を聞きたい	

## 区民の意見を受けて、これからの区の実施の一部を紹介します

### 【①】

杉並フェスタ、子育てメッセ、各地域区民センター協議会実施事業、地域づくり勉強会など、地域住民の交流を深めるイベント等を開催しています。加えて、センター協議会は地域課題（安全・安心、防災、環境、子育て支援、介護等）を解決するために、地域で活動する様々な団体を結び、ネットワークを作り、地域の活性化を目的とする活動も行っています。今後もこれらの取組を企画・実施していくとともに、地域の中で多世代の交流機会を増やす取組を開催していきます。

### 【②】

民生委員等による安心おたっしや訪問（※）や地域ボランティア・民間事業者による見守りを強化し、地域で安心して生活ができるよう見守り体制の充実を図ります

※高齢者の孤立を防ぎ、住み慣れた地域でより安心して生活できるように、高齢者宅を訪問して地域の中で日常的に相談できる関係を作るとともに、潜在的なニーズを把握し、必要に応じて適切な支援につなげる事業

### 【③】

火災危険度が高い木造密集地域などでは、戸別に訪問し、拡幅整備への協力呼びかけなど、狭あい道路の解消に向けて取り組んでいます。今年度改正した、狭あい道路の拡幅に関する条例に基づき、重点整備路線の拡幅整備、支障物件の除去を進めていきます。

### 【④】

報告書は、今回参加いただいたすべての方に手にとって見てもらい、当日の雰囲気を出してもらえよう、写真などを多く使用してまとめさせていただきました。また、今後は、広報すぎなみの刷新や SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用などにより、情報発信力を向上させていきます。

※いただいた意見は、区の施策・事業に反映させるなど、区政運営の参考にさせていただきます



社会が変化中、持続可能な地域づくりが必要

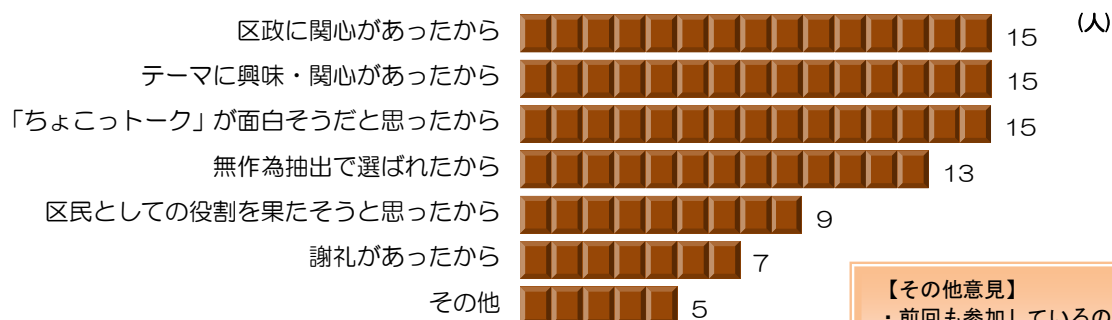
各地域においてゆるやかなつながりだがしっかりしたつながり、そして地域の絆づくりが必要

地域とのつながりについて、区民もこうした場などで自分自身の問題として意見交換することが大切



～参加者の声（参加者アンケートから）～

Q1 参加の理由（複数回答）



【その他意見】

- ・前回も参加しているので
- ・おしゃべりが楽しい
- ・自分のために
- ・前回参加し、また参加したいと思ったから

Q2 進め方等について

① 進め方



② 内容



③ 時間



Q3 区政に関心が高まったか





—参加者の声—



自分が発言しなければならない立場になると自然と他者の意見を良く聞くようになることがわかりました

多様な考え方や行動が自分の身や社会を守る糧になると思った

世代交流がよかったです

レゴを通して、人にはそれぞれの考えがある事が実感できた。  
また、地域間の連携が無いと、今後の震災や水害などに対応する事が難しいと感じた

年代別の考え方の違い、皆の意見をしっかり聞く事でより良い発想が生まれ、良い結果を生むと感じました

思いは皆一緒です。杉並に住んで良かったと思えるように個々も地域につないでいけるように活動したり関心を持つ事が大事です

地域の人と友人以外で話す機会がない

レゴを使った表現はフレッシュで楽しんで懇談できた

実際、災害に遭った時、今日の学びが生かせるか心配

繋がりと言うと難しく感じますが、今日のような交流ですと、つながりが身近に感じられる気がしました

手作業をしながらの話合いがこんなに良いものとは思いませんでした

楽しくリラックスした状態で行うと意見が出しやすかったです

多様な考え方や行動が自分や社会を守る糧になると思った

同じパーツを使いながら、皆の表現が違うのに驚きと新しい発見があり、とても良い機会になりました!!

## ～おわりに～

今年度の「ちょこトーク」第1回目は、「災害発生、そのときどうする？」をテーマに開催し、防災・減災について活発な意見交換が行われました。

中でも、防災上不可欠である「共助」が機能するためには、ふだんからの人間関係が重要であり、近隣同士で「顔の見える関係」をつくっておくことが大切との意見を複数いただきました。

このことから、第2回目は「地域とのつながり」をテーマとして、一人ひとりが望む地域のつながりについてともに考えてもらいました。また、より気軽に参加してもらえるように、おもちゃのブロックを使って対話を行う新たな手法も採用しました。

参加者からは「多世代の交流」や「ゆるやかなつながり」などといった大事なキーワードや「違う世代とのコミュニケーションが楽しかった」「つながりも意外と窮屈でない」「初対面でも心が通じた」などの感想をいただきました。

もっと自由に、気軽に参加でき、人とつながることができるような場、「ゆるやかだがしっかりとしたつながり」が自然と作られていくような、そんな場をみなさんが求めていることがわかりました。

区としては、こうした意見を踏まえ、区と区民、区民同士が、区が行っている取組を共有し、これからのまちのあり方について一緒に考えていく場をつくっていかねばと考えています。

今後もちよこトークなどの取組を通して、区政への参加機会を増やし、区民と共に、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思うまちをつくっていきたいと思います。

平成29年3月

杉並区





杉並区基本構想実現のための区民懇談会

「すぎなみ ちょこっとーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」実施報告

平成29年3月発行

編集・発行 杉並区政策経営部企画課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1丁目15番1号

TEL 03-3312-2111 (代表)

○杉並区のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp>